

うるま市と沖縄電力株式会社との「地域の脱炭素および持続可能なまちづくり」 に向けた連携協定による今後の主な取り組み

＜公共施設等への安定的かつ多様でクリーンなエネルギー供給＞

○太陽光発電設備の導入推進

初期投資のかからない自家消費型の太陽光発電設備および蓄電池（PV-TP0^{※1}）の導入を進める。市内の小中学校 5 校を含む公共施設 6 施設を選定し、導入検討中。

⇒ うるま市庁舎、中原小学校、伊波小学校、天願小学校、勝連小学校、あげな中学校

○総合アリーナ等を含めた災害拠点への多様なエネルギー供給

災害時に防災拠点となる施設への安定的かつ多様でクリーンなエネルギーの供給に向け、必要な連携・協力をを行う。

【関連する連携事項】 (1) エネルギー、(2) 環境、(3) 防災

＜エネルギー・環境教育への協力＞

市立小中学校において、脱炭素社会に資する人材育成に向けたエネルギー・環境教育の実施に協力する。

【関連する連携事項】 (1) エネルギー、(2) 環境、(4) 教育

＜産業部門等の温室効果ガス排出量の削減＞

工場等における省エネ設備・機器の導入および環境にやさしいエネルギー利用を促進する。

【関連する連携事項】 (1) エネルギー、(2) 環境

＜公用車のゼロカーボン・ドライブの推進＞

公用車の EV 転換に向けて、再生可能エネルギー電力の活用や CO2 フリーメニューの導入促進を検討する。

【関連する連携事項】 (1) エネルギー、(2) 環境、(3) 防災

※1 Photovoltaic Third-Party Ownership 沖縄電力グループが太陽光発電設備と蓄電池を無償で設置し、発電・蓄電した電気をお客さまに供給するサービス。